

大西洋まぐろ類保存国際委員会（アイキャットICCAT）第 24 回特別会合の結果について

1 ICCAT（大西洋まぐろ類保存国際委員会）

大西洋におけるかつお・まぐろ類の資源管理を目的とする国際機関。
メンバーは日本、米国、EU、アフリカ・中南米諸国等、53 か国・地域。

2 日時・場所

11 月 11 日(月) から 18 日(月)まで、リマソール（キプロス共和国）
で開催（ウェブ併用）。

3 我が国出席者

太田農林水産省顧問（政府代表）ほか、水産庁、業界関係者等。

4 結果概要

（1）熱帯まぐろ（メバチ、キハダ、カツオ）

以下の内容を含む現行措置の改正案が採択された。

	現行（2024 年）	改正後（2025 年～2027 年）
メバチの漁獲可能 量（TAC）	62,000 トン	73,000 トン。ただし、来年の 資源評価の結果を受け、2026 年以降の数量は次回会合で変 更の可能性あり。
我が国のメバチ割 当量	13,979.84 トン（他 国への移譲 900 トン を差し引き実質的に 13,079.84 トン）	13,865.86 トン（他国への移譲 350 トンを差し引き実質的に 13,515.86 トン）
集魚装置（FAD s）使用数の上限	300 個／隻	2025 年：300 個／隻 2026 年～2027 年：288 個／隻
FADs を使用し た操業の禁漁期	72 日間	2025 年：45 日間。2026 年以降 の措置は次回会合で検討。

（2）次回会合

2025 年 11 月に予定（開催地未定）。

[参考] ・2023 年漁期の我が国メバチ漁獲量 13,360 トン。全てはえ縄で漁獲。
・大西洋クロマグロについて、2025 年までの TAC を 2022 年に決定済み
のため、今回議論は行われなかった。